## Ⅲ-②英語ママーずによる英語学習支援（小学校）

### 【英語支援隊さん，発音の支援と寄り添い支援に大活躍】

本年度から５・６年生の外国語科の学習が始まり，英語支援隊の支援を受けて，子どもたちが英語に慣れ親しんでいます。支援隊さんは，週１回，１年生から４年生の外国語活動や５・６年生の外国語科の学習に参加してくださっています。すばらしい発音でモデルを示してくださったり，ゲームや振り返り等で，一人一人に寄り添い支援をしてくださったりしています。子どもたちにとって，そんな支援隊さんは友達の保護者という身近な存在でもあり，あこがれの存在でもあります。おかげで子どもたちは，生の発音に触れることができ，英語の技能が高まってきています。

【ゲームの中で子どもの支援をする】

また本年度は，研究会にも参加していただき，たくさんの参会者の方から「質の高い英会話を普段から多く聞かせることができてすばらしい」「身近な保護者が寄り添うことで英語を学ぶ以外にも人と人との関係づくりに効果がある」とたくさん支援隊さんへの称賛の声が届きました。これまでの学習で，支援隊さんがお手本となる発音をしてくださったり，寄り添ってくださったりする機会がたくさんあったため，子どもたちが自然に英語をインプットすることができ，自分たちも使ってみようという姿が多く見られるようになりました。また，紹介し合う場面では紹介する人物，紹介の文章など，様々な話す姿を見ることができ，子どもが使う文章も豊かになってきました。来年度も引き続き活躍をしていただきたいと思います。

【一人一人と英語を使って関わる】

## Ⅲ-②地域のライオンズクラブによる餅つき大会（幼稚園）

### 餅つき大会

12月18日（火）に，坂出ライオンズクラブの方々にご協力いただき，２年に一度の「餅つき大会」が行われました。子どもたちは，前日から餅つき大会があることを知って，餅つきごっこを楽しむ姿があるほど，楽しみな気持ちを膨らませていました。

当日は，リズム室いっぱいに「ぺったん！ぺったん！」の掛け声が響く中，大きな杵をライオンズクラブの方に支えてもらいながら一人一人が餅つきを体験しました。つきたてのお餅を自分たちで丸め，ほかほかで長くのびるお餅を笑顔で頬ばっていました。季節を感じる貴重な体験となりました。

# Ⅲ-②保護者によるキャリア教育とOYG（おやじの会）天体観測会（中学校）

## 保護者による進路指導

「保護者による進路指導」を12月８日（土）のオープンスクールで行いました。

教師，歯科医師，管理栄養士，消防士，建築設計士，公務員，会社経営者など様々な職業から９名の皆様に講師をお願いし，１・２年生の生徒にお話ししていただきました。

色々な職業の話を聞くことができ，生徒たちが自身の将来について考える貴重な機会となりました。今後もキャリア教育の一環として継続していきたいと思います。

## 天体観測会

OYGの取り組みの一つとして，12月14日（金）に中学校の屋上を開放して天体観測会を行いました。当日は双子座流星群が見頃で，小・中学校，特別支援学校の児童・生徒やその保護者，総勢約70名の皆様に参加いただきました。

集合時は曇り空で，観測できるか不安でしたが，屋上に上がる頃には雲も無くなり，流れ星を発見する度，あちこちから歓声が上がりました。また天体ドームや組み立て式の望遠鏡を使用して，月や火星の観測も行い，充実した観測会になりました。

## Ⅲ-②PTA，地域の方々による幸せを呼ぶオレンジベスト活動（幼小中特）

### ◇◆「幸せを呼ぶオレンジベスト活動」で安心・安全な学校に◇◆

毎日子どもたちは，自分の力で元気よく，そして安全に登下校ができています。これは，毎朝，交通量が多い道路や見通しが悪い交差点で，暑さ寒さも関係なく，子どもたちの安全を見守ってくださっている「幸せを呼ぶオレンジベスト隊」の皆さんがいてくださるからです。

「今日も元気に来たか？」と声をかけてくださる方や「左右を自分で見て渡れているね」と，子どもたちの登下校の仕方でよかったことを伝えたり，時には転んでけがをした子どもを学校まで連れてきたりしてくださることで，子どもたちが無事に登下校できています。また，学校の周りでオレンジベスト隊の方がたくさんいてくださることで，「何があっても大丈夫，オレンジベスト隊の方が助けてくれる」と思って登下校ができています。本当にありがとうございます。

そして，これからもよろしくお願いします。オレンジベスト隊のみなさんが子どもたちの安全と幸せを届けてくれています。

【自力登校】

【安全・安心のプレゼント】

## Ⅲ-②OYGによる夏休み木工教室，カヌー教室（小学校）

### 夏休み企画！小学校・特別支援学校合同木工教室開催

附属特別支援学校親和会の清水様にご協力頂き，木工教室を７月28日（土）に開催しました。児童31名，保護者20名の参加で，それぞれ本棚，ティッシュボックスなどをきりや金槌などを使って作りました。暑い中でしたが，本格的な木工にそれぞれが集中して，作り上げました。保護者の方でも，初体験の一から作る木工は大変でしたが，最後は達成感の笑顔でした。色塗りまではできなかったので，それぞれオリジナルの色塗りをして，夏休みの宿題の工作の作品になったのではないでしょうか。

### 秋のOYGカヌー体験教室

10月のわくわく４連休の中日，10月27日，前日が雨でどうなるかと思っていましたが，無事に風が強いながらも，秋晴れの中，総勢22名の参加で開催できました。国際的なカヌーの練習場にも使われる府中湖で，12艇ほどのカヌーで，いつもとは違うエリアでカヌーを体験しました。カヌー体験者の方は，カヌー未経験の方のサポートをして頂きながら，和気あいあいとした雰囲気で，充実したカヌー体験となりました。親と子供が一体となって一つの艇を協力して漕ぐ，素晴らしい体験でした。

## Ⅲ-②保護者による読み聞かせ（幼稚園），おはなしママ～ず（小学校）

### 絵本の読み聞かせ

毎週水曜日に，赤組と青組の保護者による絵本の読み聞かせが行われています。

保護者が選んだ「とっておきの一冊」を，子どもたちはお話の展開にわくわくしながら，目を輝かせて聞き入っています。読んだ後の子どもたちからの大きな拍手に，保護者も胸を熱くしています。

### おはなしママ～ず　～10周年～

12月12日（水），お話ランチボックスのお楽しみ会がありました。今年で10周年を迎えた保護者による読み聞かせ会「おはなしママ～ず」。「ぼくはカメレオン」，「ロボットとあおいことり」の２冊の本をピアノとフルートの演奏で合わせ読みました。お母さんたちの手作りのロボットや本に合わせた選曲に，約200名の子どもたちは，とても不思議な世界へ引き込まれていきました。

「おはなしママ～ず」は，毎週水曜の活動に加えて金曜のJohn先生による英語の読み聞かせ，天気が良い日には「青空ママ～ず」，また３年前より一年に１回ですが，給食時間に全校放送にて（月）～（金）に分けて長編を読むという活動も行っています。読み聞かせによって，少しでも子どもたちが本を好きになってくれますように，と願いが込められていることを感じました。これからも子どもたちがたくさんの本と出会っていけるように，この活動を大切にしていきたいですね。

## Ⅲ-②卒業生による講演（小学校）

### 第100回記念講演

「人工知能は人間を超えるか～ディープラーニングの先にあるもの～」のテーマで，本校の卒業生でもあります松尾豊先生（東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略専攻特任准教授）から「ディープラーニングによって画像認識の性能が一気に上がり，これまで機械ではできなかった作業ができるようになってきます。今後様々な分野で自動化が一気に進む事が考えられます。人工知能が発達していくことで，人が行う仕事のタスクはどんどん減っていきますが，機械を使う仕事，目的や価値を設定する仕事は人間でなければできません。そのため，どういう社会をつくりたいか，幸せで持続可能な社会とは何かを考える力が今後ますます重要になってきます。実際，自動運転技術が実用化された場合の責任や軍事利用について等の倫理面の議論は盛んに行われています。これらの，人工知能の開発現場で活躍しているのは，主に20代の若い世代となっています。クリエイティブな考え方のできる若い人材が育つように，小中学校で学ばせてほしいと思います。」というご講演をいただきました。

## Ⅲ-②卒業生による講演（中学校）

# 70周年記念式典が行われました

11月11日(土)に本校体育館において，来賓，卒業生や在校生合わせて約600人が出席して，創立70周年記念式典が行われました。高木校長先生から,「生徒一人一人が個性豊かに生き生きと学ぶという先輩たちが築いた伝統を守り，80周年，100周年とさらなる発展を目指していきたい」とあいさつをいただきました。また，同窓生から,天体ドームと望遠鏡の修理・補修をしていただき,授業や地域に開いて天体観測を行えるようにしていただきました。また，式典後には，本校卒の佐藤勝彦先生が「宇宙はいかに始まったのか？」と題した記念講演を行い，生徒たちは様々に宇宙への思いをはせる時間となりました。

中学校

## Ⅲ-②助産師による出前授業（幼稚園）

### 助産師出前授業

１月29日青組さんとその保護者を対象に助産師さん２名による授業が開かれました。体のつくりや陣痛から出産まで，自分たちが産まれてくる仕組みを細かく学びました。授業を通して性に対する正しい知識や命の大切さを学び，自分が産まれてきたときの様子などにも興味をもつことができました。

## Ⅲ-②大学からの校長によるオペラコンサート（幼小）

### 若井校園長とオペラ歌手によるオペラ名曲コンサート

10月29日に全附連の土曜事業推進助成を活用し，「若井校園長とオペラ歌手によるオペラ名曲コンサート」を小学校で開催しました。園児，児童と100名を超える保護者の方々が鑑賞し，本物の芸術に触れることができました。演目は，「椿姫」「魔笛」「カルメン」などで，子ども用にアレンジしていただいた６曲を演じていただきました。園児や児童は，歌が始まると真剣なまなざしで生のオペラに聞き入っていました。最後は子どもたちも一緒に，となりのトトロのオープニングテーマ「さんぽ」を合唱しました。公演後は，幼稚園でオペラごっこなどの遊びをする子どもが増えたそうです。芸術の秋にふさわしい，素敵な時間を過ごすことができました。

## Ⅲ-②OYGによるバスケットボール教室，逃走中（小学校）

### OYGバスケットボール教室開催

２月10日（土）にOYGの有志が企画し，バスケットボール教室を開催しました。バスケットボールスクールハーツ坂出の方をお呼びし，簡単な練習メニューからミニゲームまでを小学校体育館で行いました。

雨の降る非常に寒い中でしたが，けがもなく，児童とお父さんお母さんたち，また講師の方も楽しく過ごしました。

バスケットボールスクールハーツ坂出は，附属坂出小学校体育館で毎週火曜日に教室を開催しております。

### 土曜クラブOYG「逃走中」

11月19日（土），OYGの主催で，今年も小学校を舞台に「逃走中」が行われました。昨年は，雨天により予定を一部変更しましたが，今年はなんとか天候にも恵まれ，児童約100名，保護者約90名が参加し，予定通りの内容を実施しました。運動場や松風園を児童やハンターが元気に走り回り，いつもと違う接し方で，充実した時間を過ごしました。児童たちはもとより，参加した保護者，先生方のキラキラとしたさわやかな笑顔が印象的でした。

## Ⅲ-②保護者によるカフェと進路指導（中学校）

### 松韻会カフェ

12月２日（土）オープンスクールの日に多目的室において「松韻会カフェ」を開きました。

コーヒー・紅茶・ジュースを100円で提供させていただきました。また総合学習CANで生徒が開発したどらやきや附属グッズの販売も行いました。多くの方に足を運んでいただき，学校での様子をビデオ鑑賞しながら，ゆっくりとした時間を過ごしていただきました。

### 保護者による進路指導

自分の将来について考えるきっかけに…と一昨年から始めた「保護者による進路指導」を，今年もオープンスクール時に行いました。医師・薬剤師・保健師・図書館司書・警察官・銀行員・通信・機械メーカーから８名の保護者の方々に講師をお願いし，１・２年の生徒にお話をしていただきました。

様々な職業の話を聞くことができ，進路について考える貴重な機会となりました。

今後もキャリア教育の一環として継続していきたいと思いますので，保護者の皆様ご協力お願いいたします。

## Ⅲ-②OYGと四国財務局による財政教育プログラム（小学校）

### 気分は財務大臣！（財政教育プログラム）

10月21日（土），OYG主催で財政教育プログラムが実施されました。23組の親子に参加いただききました。財務省四国財務局の局長においでいただき，タブレットを使った予算編成など，親子で国家財政を真剣に学びました。難しい題材をおもしろおかしく学ぶことができ，財政が身近なものになる良い機会となったのではないでしょうか。

## Ⅲ-②保護者と学校がコラボした合同避難訓練（小学校）

### 避難訓練とのコラボレーション企画

“クロスロードを通して想定外を想定内に”

災害時におけるリーダーシップを育てる試みとして，PTAが主体となって発案した企画です。予想のできない様々な災害に見舞われる日本そして世界で，知的に考え臨機応変に対応できる子どもに育ってほしいという願いを込めて企画しました。３月２日（木）に行われる避難訓練に合わせて高学年を対象に予定しています。災害時における対処法について，あらかじめ用意された選択肢の中から一つを選び，なぜその方法を選んだのかを話し合ったり，別の方法を選んだ子どもたちの意見を聞いたりして対応を学ぶことができる取組です。

## Ⅲ-②OYG企画「園庭で遊ぼう」（幼稚園）

### 幼稚園【OYG企画】　園庭で遊ぼう

第２回OYG企画「園庭で遊ぼう！」が11月３日（木）文化の日に催されました。

未就園児から小学生までの子どもたちとその保護者80名余りが集まり，綱引きや玉入れ，しっぽとり競争などをして楽しく過ごしました。いつもの園庭でお気に入りの遊びをする子どもたちでにぎわいました。

リズム室では，保護者手作りのストラックアウトやボウリングなどを楽しみました。小さな子どもから大きな子どもたちまで何回も並び直し，夢中になって遊んでいました。保護者もたくさんの子どもたちとふれあい，また保護者同士の交流も深まり，すてきな時間を過ごすことができました。

最後にお父さんが体操のお兄さんになりきって「エビカニクス体操」を全員で行い，さわやかな汗をかきました。とても有意義な一日でした。

## Ⅲ-②地域の指導者による陶芸づくり（幼稚園）

### 親子で一つのか・た・ち　～陶芸づくり～

年長児親子で花瓶づくりにチャレンジしました。齋藤敏子先生の楽しいお話を聞きながら，「○○の形を作りたい」「～してみたら・・」とお家の方とのイメージを伝え合って，世界に一つだけの大切なものができました。製作中，真剣なまなざしやほほ笑み合い，工夫を凝らすがんばりの姿から，いろいろな思いが通じ合っているのを感じました。「できた!」という喜びの声の奥には，楽しさや嬉しさが伝わってきました。

焼き上がった花瓶には，どんな花が飾られるでしょうか。家族で楽しめるといいですね。

土粘土が，あら不思議!

### 楽しいな，読み聞かせ

年中組では，絵本ボランティアをお家の方がしてくれています。子どもたちが楽しいひとときを過ごせるようにと，子どもの生活や好きなこと，季節などを取り入れて，毎回セレクトした絵本を楽しく読んでくださいます。子どもたちは，読んでもらうことが大好き。お話の世界に入り込んで，笑顔がこぼれたり，じっと見つめたり耳を澄ませたり…，友達と一緒の空気を感じながら心を動かしています。また，お家の方の温かく楽しい言葉がけがすてきで，子どもたちの心に残っていることでしょう。次も，また楽しみです。

さあ，次はどうなるのかな。

手作り絵本
わくわく

## Ⅲ-②地域の指導者によるグラスアート製作会（幼稚園）

### ウェンディーの会　～グラスアート製作会～

11月16日（月），グラスアート教室を開いている田中先生をお招きし，グラスアート製作会が行われ，保護者約25名の参加がありました。

今回のグラスアートでは「キャンドル・バラ」と「ウェルカムボード・鳥」の２作品から選ぶことができ，また，色も赤，黄，紫，水色から選ぶことができました。約１時間から１時間30分で仕上がる作品はどちらもとてもかわいらしく，どんな色合いの作品にしようか迷ってしまいました。

初めてのグラスアート製作に保護者の方々はとても真剣な表情で先生の説明を聞いていました。始めのうちはおしゃべりをしながら楽しく製作していましたが，作業が進むにつれていつの間にか無口になり，完成まで真剣そのものでした。自分で作った作品はどんな出来栄えであれ，ずっと大切にしていくのだろうなと思います。貴重な体験ができ，とても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。「こんなふうにして作ったんだよ。」と子どもと話をして楽しみたいと思います。

グラスアートにご興味のある方はぜひ一度，田中先生が開いているグラスアート教室（善通寺教室・宇多津教室があります）に足を運んでみてはいかがでしょうか。

## Ⅲ-②保護者による進路指導（中学校）

### 「保護者による進路指導」

オープンスクールでは，１・２年生を対象とした進路指導の一環として，保護者の方々に講師を募り，子どもたちにそれぞれの職業の内容や経験を話していただく「保護者による進路指導」を行いました。昨年より始まりましたが，今年も医師，政治家，会計士，消防士，銀行員，司法書士，公認会計士，道路建設・管理，自動車学校など９名の保護者の方に講師になっていただき，50分を前半・後半に分け子どもたちに話をしていただきました。いろいろな職業の話を直接聞くことで，自分の将来について考えるきっかけになる有意義な時間になったことと思います。来年度も引き続き行いたいと思いますので，保護者の皆様，奮ってご参加ください！

## Ⅲ-②県教委，県警による自律教室（中学校）

### ３年生激励会

１月10日（火），３年生激励会が行われました。もうすぐ受験を迎える３年生の合格を祈願し，１・２年生一人一人の応援メッセージを記した合格絵馬とシクラメンを３年生に贈りました。メッセージには「最後まであきらめないで，夢の実現に向けて頑張ってください。私たちも全力で応援しています。」等，先輩方が無事突破できるようにとの願いが込められていました。この合格絵馬は１・２年生全員が寄せ書きをして作ったもので，これまでお世話になったことへの感謝の気持ちがこもっています。

冷え込みが厳しい体育館で行われましたが，今年も附坂中生の強い絆が感じられる心温まる会となりました。

### 13歳の自律教室

１月24日（火），１年生を対象に13歳の自律教室が行われました。今年度は，香川県教育委員会，香川県警，そして歌手のmimikaさんが講師となって，年齢によって警察の対応が違うことや，身近な出来事から犯罪になることを学びました。「LINEに何気なく写真を掲載したことから思わぬ犯罪に巻き込まれることがあると知った。」等，今の自分を振り返り，自律へのきっかけとなる有意義な時間となりました。

中学校

## Ⅲ-②マラソン選手との交流（小学校）

### 丸亀ハーフマラソン招待選手との交流会

２月３日（金），香川丸亀国際ハーフマラソン大会に招待されたアメリカ人のシャレーン・フラナガン選手とエイミー・クラッグ選手が小学校へ来てくださり，全校生と交流会を行いました。お２人ともリオ・オリンピックの女子マラソンに出場されており，それぞれ６位，９位という実力者です。

交流会では，興味津々の子どもたちから多くの質問があり，通訳を介しながらお２人が丁寧に答えてくださいました。「努力し続けることが大切」「苦しいときに心の支えになっているのは，家族や周りの人々への感謝の気持ちである」というお話があり，子どもたちの成長に向けて大切なことを伝えてくださいました。また，子どもたちといっしょに走って親交を深めた後，美しいランニングフォームで運動場のトラックを走ると，子どもたちは憧れのまなざしで見入っていました。

２日後に行われた大会では，エイミー・クラッグ選手が自己ベストのタイムで２位となり，大会後にはツイッターで「多くの子どもと共に走り，力をもらった」とのコメントがありました。交流させていただいた私たちとしてもうれしいニュースとなりました。

小学校

## Ⅲ-②OB教員による弁論大会，親子セミナー（中学校）

### 楽しく心に残る４日間でした

５月８日（金）～11日（月）まで、「Best of story ～心（ハート）に刻め！僕らの思い出の１ページ～」というテーマのもと，屋島集団宿泊学習を行いました。野外炊事やカッター，フライングディスクゴルフ，魚釣り，ウォークラリー，キャンドルサービスなどの活動に皆で協力して取り組みました。屋島では，自分たちでしおりを確認し，仲間と声をかけ合って先を見通した行動もできるようになり，これらの経験はその後の学校生活に生かされています。“good”の集団で満足せず，“best”な集団を目指す２年生の今後が期待できます。

### よりよい生き方について考えました

６月14日（日）に弁論大会が行われました。「社会を明るくするために」というテーマについて全校生が書いた作文の中から，各クラス１名が代表者として発表し，３年生の赤垣佑馬さんと，１年生の安田早希さんが学校代表として選ばれました。赤垣さんは「明日会えなくなるかもしれない」，安田さんは「障がいの差別」という演題で自らの体験をもとに，人間の尊厳や家族との絆などについて，自分の言葉で主張してくれました。

【赤垣佑馬さん】

【安田早希さん】

また，弁論大会終了後には親子セミナーを行いました。作花典男先生が「主役は，君だ！」という演題でご講演くださり，「自己超越」の欲求について次の四つを紹介してくださいました。

① 自分の言動によって，人が喜ぶ姿を喜ぶ心
② 自分の持っている，限りある時間や能力を無償で他人に提供するということ
③ 自己実現以上の強烈な，しびれるような喜び，幸せが得られるということ
④ そして，何よりも，自分で自分をほめてやれる喜び，幸せを味わえるということ

この自己超越の心を耕し，育て，実践することが，長い未来を有する幸せ探しの一つの目標だと確信されていること，自分の人生劇場で自分はたった一人の主役なのだから，「よくがんばった，えらいぞ」と自分をほめてやれたらどんなにいいかなどとお話くださいました。

【作花典男先生】

今回の弁論大会や親子セミナーを通して感じたり，考えたりしたことを今後の生活に生かし，人生の主役をすてきに演じていきましょう。

中学校

## Ⅲ-②JR親の会による駅長講話 県警による非行防止教室（小学校）

### 坂出駅長さんからのお話

５月19日の授業参観後，JR通学者約140名とその保護者の方を対象に坂出駅の藪内駅長さんよりお話がありました。これは，安全に通学してほしいという願いから，松韻会安全委員会の呼びかけで行ったものです。

駅長さんからは，「駅のホームではふざけない」「傘を振り回さない」等のお話があり，小さい子どもたちも真剣に聞いていました。自他の命を守るために大切なことです。駅長さんや安全委員会の方々の思いに応えるためにも，今後気を付けて通学してほしいと思います。

### 非行防止教室

６月23日，香川県警よりスクールサポーターの鎌田さんに来ていただき，４年生を対象に非行防止教室を実施しました。

小学生段階の犯罪では窃盗（万引き）が最も多く，その見張りをしただけでも罪になること，軽い犯罪を繰り返しているうちに大きな罪を犯してしまうこと，大切な家族や周囲の人々を悲しませる結果になること等を分かりやすく話していただきました。真剣に聞いていた子どもたちは，「絶対に万引きはしない」と誓うとともに，友達に誘われたときの対処法も具体的に学んでいました。

小学校

## Ⅲ-②大学教授による防災についての話（幼稚園）

### ウェンディの会　～防災についてのお話～

11月19日（水），香川大学防災センターの松尾裕治先生を招き，『家庭での防災対応・対策について～小さな子どもを守るために大切なこと～』についてお話ししていただきました。

四国における地震や津波について，歴史からの学びを現在に生かす大切さ，現代の様々なデータからの想定情報を知る大切さ等，詳しくわかりやすく伝えてくださいました。「ハイテク防災術」だけでなく「ローテク防災術」に目を向け，非常時に何を備えるとよいか，何ができるかを日々意識しておくことが身を守ることにつながる話は納得でした。【自分が死んではいけない】【自分が守らなければならない人を最後まで守り抜く】という言葉が心に残りました。早速，〈じしんまんの５ひきの手下〉から守る正義の味方〈やっつけるんジャー〉について，子どもと一緒に話し合い，防災に備えていきたいと思います。新聞紙スリッパ，ロープワーク等，実際役立つことも多く学ぶことができました。

浸水対策には「さぐり棒！」

「もやい結び」に挑戦中

## Ⅲ-②大学教授を招いての家庭教育学級（幼稚園）

### 「親子で楽しく運動遊び」&「朝ごはんの話」～家庭教育学級～

10月24日，香大の藤元恭子先生と一緒に「親子運動遊び」を行いました。子どもたちが好きな冒険(お出かけ)をテーマに，体を曲げたり伸ばしたり，跳んだり支えたりといろいろな動きをする中で，幼児期の子どもに大切なバランス感覚，体の支持，柔軟性など，保護者へのアドバイスを含め，みんな汗をかきかき，笑顔いっぱいのひとときでした。「朝ごはん，なぜ大切なの？」という思いに藤原章司先生が脳や心とのつながり，病気の予防等，ユーモアを交えてわかりやすくお話をしてくださいました。保護者の方より，早速「家庭での食事を見直したい！」「一緒に食事をする大切さを改めて感じた」「食って，大事。家族を守りたい」という子どもの食育，家族の健康への意識と思いが改めて高まっていく言葉が届けられました。

ブランコみたい。

長～いトンネルだ！

### 保育参加

11月6，7日に保護者の方に保育に参加していただきました。青組では木工遊び，赤・黄組では秋の素材のおもちゃ作りなど工作，そして，草花色水作りや泥団子作り，サッカー等を子どもたちと楽しみました。子どもの遊ぶ姿を側でじっくり感じたり，子どもの発見に驚かれたり，子ども同士の姿に温かさを感じ取られたり。子どもの大きくなる姿をともに受けとめてくださる目，言葉に，「一緒に育ち合う」気持ちを実感しました。

一緒に作ろうね。

## Ⅲ-②大学からの校長企画の天体観測会（小学校）

## 天体観測会

初めての試みとして，昨年度から天体観測会を行っています。これは，星に興味をもってほしいという願いから，専門家である松村校長が企画して始めたものです。

第１回は昨年の12月12日，第２回は今年の６月19日に行いました。どちらも100人以上の希望者があり，抽選で選ばれた50名ずつが保護者の方の送り迎えで参加しました。

写真は６月の観測会の様子です。まずは一番星を見つけようと日没後の空を見上げました。子どもたちは，「あった！」「あそこにも」と声を上げながら，見つけた星を指差していました。その後，明るく輝く木星と土星を望遠鏡で観測しました。子どもたちは，「しましまが見えた。」「木星の周りにいっぱい星（衛星）があった。」「土星の輪っかが見えたよ。」と興奮気味に話していました。望遠鏡には長い列ができ，何度も並ぶ子どももいました。

希望しながら参加できていない子どもたちのために，これからも何度か企画したいと考えています。

## Ⅲ-②みんなで日食観測会（小学校）

## 日食の観察会

2012年５月21日，日本国内では25年ぶりとなる金環日食（坂出では部分日食）が，観察できました。夜半より降り始めた雨に心配していましたが，観察会開催時刻の７時頃になると狙いすましたかのように，薄雲の間から欠けた太陽が顔を見せました。小学校の校庭に集まった300名を超える児童・教職員・保護者から歓声が上がりました。参加者は目の保護のために遮光プレートを手に，３人一組交代で，世紀の天体ショーを観察しました。遮光プレートを通すと，太陽が三日月型に欠けていく様子が手に取るように観察できました。また，木漏れ日や，手で作った格子を通して，体育館の扉に三日月型の太陽光が映し出されました。太陽が隠された分，周囲は薄暗く，気温も心なしか下がった気がしました。参加者の願いが通じたのか，７時半頃の最大食を超えても，薄曇りのまま終了時刻の７時45分まで観察できました。次回，香川県内（高松市内）でこれ程大きな日食（９割以上）が見られるのは83年後だそうです。早起きして観察会に参加した甲斐がありました。

小学校

## Ⅲ-②消防士を招いてのオープンスクール（中学校）

### 中学校より

６月８日　附属坂出中学校でオープンスクールが開催されました。

この日は保護者に学校の様子が公開されるため，たくさんの保護者が中学校に集まりました。

午前に行われた親子セミナーでは坂出市消防本部　消防署主幹の藤井 浩二先生が『絆～今を生きてこそ明日がある～』という題目で約１時間のご講演を行いました。ご自身が実際に現場に行かれた，阪神淡路大震災，東日本大震災の実地でのご体験と生徒の学業を絡めた，大変聞きごたえのある講演となりました。「もし被災した場合，一番何が大切か」を保護者，生徒共に改めて気づかされ，『命の大切さ』を真剣に考えることのできる実りのある１時間となりました。また保護者の代表が，実際に阪神淡路大震災で被災した女性が実の子どもに向けた手紙を代読したシーンでは子供たちから驚嘆の声がもれるなど，普段の授業とは違った貴重な時間を親子ともに共有することができ，会場から大きな拍手がわき起こりました。

午後からの学級親睦会では保護者同士が思春期に入った子供たちについての悩みなどをお互いに話し合い，共有し，また共感し，同じ立場で本音をぶつけあうことで午前の部とは違った切り口の貴重な体験をすることができました。

オープンスクールは企画・コンセプトの根幹が回を重ねるごとに充実し，附属坂出中学校になくてはならない事業となっていると思います。今回参加できなかった保護者の方も，次回は是非参加して，子どもたちと一緒に実りのある時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

## Ⅲ-②卒業生（彫刻家）による特別授業（小学校）

### 辻野榮一先生の特別授業

10月17日，本校の卒業生で彫刻家の辻野栄一先生が附属坂出小学校にやってきました。辻野先生は，今秋，坂出市民美術館で「薫り立つ木刻の森」のテーマで彫刻展を開催されました。５年生が彫刻展に行き，辻野先生の作品で自分が気に入った作品をスケッチし，思い思いの色を付けてきました。

そのスケッチを見てもらいながら，豊かなイメージを大切にした絵のおもしろさや描き方のこつを教えてもらいました。

最後には，附属坂出小学校・中学校時代から絵が大好きだった辻野先輩から，経験をもとにした４つのアドバイスをいただきました。それは，「①人とのつながりを大切にすること」「②好きなことをとことん続けること」「③自分のやりたいことを言語化すること」「④やろうか，やめようか，と迷ったときはやる方を選ぶこと」です。肝に銘じたいものです。

授業終了後もスケッチブックにサインをねだる子どもたちがあふれていました。夢をもって進み，今度は君たちが後輩たちへのメッセージを伝えに附属坂出小学校へ戻ってきてくださいね。附属坂出小学校はただいま99歳（白寿）です。

小学校

## Ⅲ-②大学からの校長による刻印づくり（幼稚園）

### 幼稚園

#### 親子で篆刻づくり

年長児親子で篆刻づくりにチャレンジしました。教えてくださったのは小西園長先生です。園長先生の日展作品をお手本にして作っていきました。

篆刻の文字は，自分の名前から決めます。漢字，ひらがな，アルファベットと思い思いに選んでいました。これから自分の作品の一角に篆刻を押していくのがとても楽しみです。

## Ⅲ-②スクールカウンセラーによる座談会（幼稚園）

#### 保護者座談会　～上手な叱り方～

年少組・年中組の保護者の方へ，スクールカウンセラーの田中彩先生より「上手な叱り方」についてご講話をいただきました。「残念な叱り方には『手柄横取り型』『タイミング逃し型』『要求底なし型』『気分にむら有り型』『一言余計型』などがありますよ」の言葉に大きく頷いていた保護者の方々でした。

グループでの保護者座談会では「私，余計な一言を言ってしまうわ」「私はタイミングを逃しているかも…」と自分を振り返りながら，談笑されていました。

## Ⅲ-②保護者による環境整備「土曜メンテナンス」（幼小中特）

### 土曜メンテナンス

５月26日（土），今年も晴天の中，土曜メンテナンスが行われました。

昨年同様，幼稚園，小学校，中学校から，親子で87人もの参加者が集まりました。

各保育室のお掃除や，リズム室の大型積み木のやすり掛けなど，子どもたちも一緒に一生懸命取り組む姿が見られました。また，園庭には，お父さんたちがペンキで様々な色を作って塗り上げた，とても素敵な虹色のうんていが完成しました。

子どもたちがいつもお世話になっている園舎と園庭がきれいになったとともに，保護者間の親睦も深まり，充実した半日になりました。

### 毎年恒例！ 土曜メンテナンス

10月14日（土），恒例の土曜メンテナンスが行われ，総勢38名の方に参加していただきました。例年通り様々な箇所の修繕に加え，今年はジャンピングボードを新たに作成し，また低学年用の踏み台も作りました。心を込めてきれいに作ったので，来年また作り直さなければならないぐらい，どんどん使ってくれたらうれしいです。

## 土曜メンテナンス

運動会をひかえた9月9日（土），土曜メンテンナンスを行いました。

本年度の松韻会は「ALL松韻会の絆の確立」をテーマに掲げており，中学校だけでなく幼稚園，小学校の皆様からもご協力を頂き約50名の参加者で実施しました。

大勢の人が集まる運動会が，安心・安全に実施できるようメンテナンスを行いました。

きれいになっていく喜びを分かち合い，親子はもちろんのこと保護者同士の交流も深まった充実した時間となりました。